

給食用米の田んぼで生き物調査 親子で田んぼの大切さを学ぶ

6月26日、農産販売課はJAかながわ西湘管内の圃場で毎年恒例の食農教育イベント「田んぼの生き物調査」を開催し、参加した親子は田んぼやそこに生息する生き物の大切さを学んだ。調査は県内産学校給食用米への理解を深めることが目的で給食米が育つ田んぼで実施した。

28人の親子は泥だらけになりながら田んぼに生息する生き物を捕まえていた。ヒメタニシやコオイムシ、オタマジャクシなど24種類の生物が観察され、子どもたちは「これは何という生き物だろう」と図鑑で調べ、メモを取るなど熱心に学んでいた。参加した子どもは「田んぼからいろいろな生き物が見つかり、楽しかった」と嬉しそうな笑顔を見せていた。

県産米は、神奈川県学校給食会による地産地消の取り組みの中で学校給食に使用されている。本イベントは県産米の集荷を担うJAグループが「給食のお米はどこから来るのか」について発信し、給食利用者らと相互理解を深める良い機会となっている。

同課は「今日観察した生き物が生きていけるのは、田んぼがあるからこそ。その田んぼを守っていくためには、お米を食べることが必要になる。田んぼや生き物を守っていくためにも、たくさんお米を食べよう」と子どもたちに呼びかけた。

同課は「今日観察した生き物が生きていけるのは、田んぼがあるからこそ。その田んぼを守っていくためには、お米を食べることが必要になる。田んぼや生き物を守っていくためにも、たくさんお米を食べよう」と子どもたちに呼びかけた。



減多に入ることのできない田んぼで大はしゃぎの子どもたち。大人も夢中に！



さまざまな生き物に興味津々。

お客さまとつながるPOPづくりに向けて 直売所POP研修会を実施

農産総合課は7月15日、JA農産直売所での販促支援の一環として、直売所POP研修会をJAビルかながわで開催した。

当日は店舗職員およびパート職員ら18人が参加し、外部講師による講義を受けながら、魅力的なPOPを作成するポイントを習得した。

参加者はレイアウトやPOPならではの文字の書き方に奮闘しつつ、最後にはそれぞれ紹介したい商品のPOPを作成した。感想には「より良いお店づくりに向け、早速実践したい」「直売をしている生産者とも共有したい」という声が寄せられた。

同課は「POPはス



食べたい、買いたいと思ってもらえるPOPを考えました

スタッフとお客さまをつなぐ役割がある。オリジナルのPOPで商品やお店のカラーを打ち出し、店舗活性化のアイテムとして活用してほしい」と期待を寄せる。



セールスポイントを短いキャッチフレーズで表現するには……

「農協直売所カレールウ 甘口」が新発売

野菜のうま味たっぷりでお子さんも大好きに！

生活課は、JA直売所のロングセラー商品「農協直売所カレールウ」に甘口タイプを新規開発、7月15日に発売開始した。

「農協直売所カレールウ」は、県産タマネギと県産小麦を100%使用したフレーク状のカレールウ。少量ずつ時間をかけて焼き上げるこだわりの直火焼き製法により、スパイスの香りや野菜のうま味を楽しむことができる。

原料のタマネギには生産者手取り向上を目的に、形や大きさが不揃い等の理由で市場出荷できない規格外品も活用しており、加工・製造することで新たな付加価値を生み出している。地産地消への関心が高い消費者が多く訪れるJA直売所ならではの商品である。

甘口をラインナップに加えることで、お子さんを中心に幅広いお客さまの手に取ってもらうことを期待する。

同課は「同じ農協直売所シリーズの『炒め玉ねぎ』を入れるとうま味がグッと増すので、ぜひセットで買って食べてもらいたい」とコメントする。

「農協直売所カレールウ 甘口」は1袋150g（5皿

分）、税込価格324円。県内JA農産物直売所ならびに本会運営の産直通販サイト「JAタウン」で販売中。



JAタウンの購入はこちらから！



スパイス香るカレーで夏バテ防止

「農業機械特別予約キャンペーン」実施中

JA全農かながわでは6/1（火）～8/31（火）の期間、「2021年夏 農業機械特別予約キャンペーン」を実施しています。

例年8月に農業機械展示予約会および中古農機販売会を実施していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止による健康・安全面を考慮した結果、中止を決定いたしました。

展示会は中止となりましたが、ぜひこの機会にキャンペーンのご利用をご検討ください。

お問い合わせは農機・自動車課(0463-53-1565)まで。

